

防衛医科大学校 病院長 長谷 和生様 宛て
公開質問状

2017年04月27日

質問者 Jimmy's Wish Project 支持者一同

Ryan 美紀

第1 公開質問の趣旨

2007年12月28日から、防衛医科大学校病院の小児科の若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らの取った行為について、質問させていただきます。

若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らが、質問者であるライアン美紀の息子（個人情報関係上、以下『息子』という。）当時11歳と20日に対して実行した下記記載の所為は、保護責任者遺棄（時効済み）、並びに、殺人未遂罪（刑法203条）の未必の故意に該当すると考えております。その為、今まで、何度もお話し合いの場を設けていただきたく、お願いしてきましたが、一向にご連絡を頂けないため、公開質問という形式にさせていただきましたが、

この件は、患者である息子の父親がアメリカ人である。という関係上、現在、海外の教会を使用した署名運動が行われている関係、並びに、海外の教授陣が集まり、息子の壊れてしまった身体や脳を治すためのプロジェクトが開始されている関係上、沢山の方が、この公開質問状の結果を心配しております。このような関係上、私は、この公開質問状に関する正式な事実確認を、公開討論会という形式にて、外国人記者クラブで行う事を希望しております。下記記載事実をご確認いただき、速やかに、ご返答いただけますよう、心から、お願い申し上げます。

第2 事件の経緯

若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）は、2007年12月28日、わたくしの息子（当時11歳）に対して、インフォームドコンセントも無く、両親への承諾も無く、無断で、厚生労働省で治療とは認められていない方法を使用して、息子の頭にビニール袋を被せて窒息させました。

厚生労働省の、『厚生労働省の認めていない方法を治療とは言えない。』との見解に基づき、この行為は、治療では無いと考えています。

しかも、低酸素脳症、及び二酸化炭素ナルコーシスに陥った脳や身

体を保護するための治療も2次性脳障害にならないための処置もせず、医療放置した為に2度の心臓停止を起こさせました。即ち3名は、殺人未遂の未必の故意を実行し、息子の身体に対して、重大な脳障害問題（人工呼吸器装着・失明・経鼻経管栄養）を作りました。これらの行為は、刑法203条殺人未遂の未必の故意に該当すると思慮します。

第3 公開質問を希望するに至る事件の経緯

若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らは、わたくしの息子11歳（2007年当時）に対して、下記の行為を実行した。

1、頭にビニール袋を被せる。（1回目）

わたくしの息子（当時11歳）が、防衛大学病院に入院していた2007年12月28日の師走。若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らは、わたくしの夫が退室した2007年12月28日午前10時30分から、僅か2時間前後ほどで、息子の病室に、看護婦長と看護師1名と医師2名の合計4か名が集まり、看護婦長が廊下で見張り（観察）をしていた中、当時、障害を持ち、自分自身で身体を起こす事の出来ないわたくしの息子を、仰向けに寝かせた状態で、

医師と看護師が頭にビニール袋を被せたが、わたくしの息子が大声を出し泣き叫んだ為、1回目は一旦中止。

2、頭にビニール袋を被せる。(2回目)

再度、息子の病室に、看護婦長を見張り・観察（岩鼻婦長の言葉）させて医師2名が集まり、親への承諾も無く、催眠鎮静剤であるダイアップ（座薬）を2回と、筋弛緩作用の強いセルシン（点滴）を息子に使用。看護婦長が廊下で見張り（観察）をしていた中、医師2人で、ダイアップ（座薬）とセルシン（点滴）を使用されていたために朦朧（もうろう）とした意識状態の中、身動きの取れない状態の息子を、仰向けに寝かせた状態で、頭にビニール袋を被せた。

其の後、窒息したために低酸素脳症？CO2 ナルコーシス？になる。頭にビニール袋を被せた時間については、3名が異なる時間を告白（録音テープ有り。）通常、ペーパーバック療法は、頭に被せるのではなく、袋を口に当てる行為であるが、若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らは、仰向けに寝た状態の息子の頭にビニール袋を被せている。この状態であれば、ビニール袋は、すぐに顔や口に張り付く。即ち、すぐに呼吸停止する事は明白であり、この状態で

3分や10分実行するという行為は、当然、ビニールが顔に張り付き窒息を起こすのは、子供でも分かりそうな事である。そのような子供でもわかるような内容を、なぜ？若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らは、実行したのか？

又、若松太の告白に、血中酸素濃度を測っていなかった。との告白がある。同時に、酸素マスクを使用していた。との支離滅裂な告白もあるが、若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らの、窒息後の息子に対する行動を見れば、これらの話しの信憑性には疑問を持つ。

以下は、彼ら3名の頭にビニールを被せた事実についての告白テープである。テープは膨大にあるが、弁護士に言われているので、大切な部分のテープは公開できないので、一部のみを公開している。

時間の告白テープ

若松太（医師） 30秒を2回との告白

<http://www.jimmyswishproject.org/30-1>

小島令嗣（医師） 10分を2回との告白

<http://www.jimmyswishproject.org/3-1>

岩鼻まゆみ（婦長） 3分を2回との告白

<http://www.jimmyswishproject.org/10>

さて、以上のテープを聞いて頂ければ、この医師らが実行した禍々しい事件が事実である事は、理解いただけた事と思います。

問題は、最初の若松太の告白では、この直後に窒息。この直後から植物人間のようになったとの告白がありましたが、問題はここからで、この窒息・心臓停止した直後、彼らは事件の発覚を恐れ、人工呼吸器の装着やクーリングや血糖値の治療や脳の二次性脳障害を最小限にする為に必要な治療のすべてを放置した。のだそうです。

息子の症状

- 意識なし。
- 身体硬直。
- 鼻血。
- 血糖値 300～500。
- 高熱 42 度。
- 対光反射なし。
- 瞳孔反応や角膜反射の消失
- 四肢の異常伸展反応
- ミオクローヌス・重責てんかん
- まぶた閉じない。閉じない為充血。白い膜。

3、治療放置という名の殺人未遂の未必の故意

若松太（医師）・小島令嗣（医師）・岩鼻まゆみ（婦長）らは、わたくしの息子にビニール袋を被せたことにより？CO₂ナルコーシス？低酸素脳症？になり、植物人間状態～脳死に近い状態になったとの告白を受けました。其の後、通常の医師であれば、二次性脳障害を最小限にする為に人工呼吸器を装着したり、CTやMRIや脳波検査などをするのが常識です。しかし、彼らは、42度の高熱・300以上と言っていた血糖値・弱く切れ切れの呼吸などにより、脳のダメージが急速に広がって行っているにもかかわらず、一切の治療を放置したのです。当然ですが、その為に、息子は、其の後、2回心臓が停止しました。

通常、意識障害（昏睡など）を起こしたCO₂ナルコーシス患者には、人工呼吸器装着は常識とされています。もし、意識障害を起こした患者に人工呼吸器を使用しない場合、患者は心臓が停止する確率が高いといわれています。この事実を知らない医師はいません。

しかし、息子は、人工呼吸器の装着もしてもらえず、父親が発見した時は、大量の鼻血が出て乾いていました。人工呼吸器を装着しなくては死ぬ場合がある事を知りながら、放置したということです。

同様に、脳症患者では、侵襲性高血糖や代謝亢進に基づく高体温が発生した場合、これらの高血糖、高体温は神経学的転帰を悪化させる重大な要因である事は、医師の常識だそうです。しかし、氷枕も使用されず、血糖値をさげる治療もされていませんでした。

即ち、『このまま、人工呼吸器を使用しない場合、高熱や血糖利を下げない場合、死ぬと思う。でも人工呼吸器はしない。それは即ち、死んでも構わないから。』という事になり、殺人未遂の未必の故意になります。

殺人未遂の未必の故意とは

<https://kotobank.jp/word/%E6%9C%AA%E5%BF%85%E3%81%A%E6%95%85%E6%84%8F-885658>

息子に必要なだった治療

- ① 頭部 CT 検査、頭部 MRI 検査、脳波検査などの施行
- ② 42 度の高熱を下げる為の治療。
- ③ 血糖値 300 以上を下げる為の治療。
- ④ 脳のダメージの治療。
- ⑤ 閉じなくなった瞼の治療。
- ⑥ いきんだ為に切れた可能性があると言っていた目の血管の治療。
- ⑦ 硬直した身体の治療。

⑧ 人工呼吸器の装着。(脳のダメージが広がって脳幹に達した場合に呼吸停止を起こすため、必要な治療。)

上記の一切の治療が行われていなかった為、息子は翌日 29 日に心臓停止を 2 回起こしました。たまたま、父親と医師の目の前で心臓停止をおこしたので、すぐに蘇生をしましたが、この日、父親が病院に行くのが、遅れていたら、息子は死んでいました。

即ち、殺人未遂の未必の故意になります。

4、頭にビニール袋を被せるという行為の異常性

ペーパーバッグ療法と言う厚生労働省が『治療と認めていない。』と、認可されていない民間療法があります。しかし、これは、紙袋であり、ビニール袋ではありません。しかも、頭に被せるわけではありません。口に袋を当てるだけです。それなのに、なぜか、被告訴人は、仰向けに寝た状態の告訴人の息子の顔に張り付く事を知りながらビニール袋を使用し、更に、口に当てるのではなく、頭に被せました。これを、殺人未遂と言わずして、なんと呼ばばよいのでしょうか？異常な行為である事は、間違いがありません。

5、インフォームドコンセントも両親への事前事後報告も無く実行された行為

厚生労働省に尋ねたところ、パーパーバッグ療法に関して、以下の回答がありました。

- ① ペーパーバック療法は、厚生労働省で、病院での使用を認めていません。
- ② ペーパーバッグ療法は、NHK のためしてガッテンというテレビで、殺人行為だ。として放映されていました。
- ③ 殺人行為のような行為を、厚生労働省が許可することは、絶対にありません。
- ④ もし、医師が、厚生労働省の許可していない治療方法を患者に使用する場合は、患者、もしくは、家族へのインフォームドコンセントをしなくては実行できません。
- ⑤ もし、大学病院の中で、医療ミスや医療事件があった場合、それが、子供の場合は、病院は、速やかに、ご両親に伝える義務があります。
- ⑥ 又、パーパーバッグ療法は、治療とは認められていませんが、聞いた事があるのは紙袋ですし、口に当てるだけの行為だったので

はないでしょうか？それが、ビニール袋で頭に被せる。というのは、いくら何でも必要性は無いでしょう。頭に被せるという行為をご両親にインフォームドコンセントなく実行するのは、警察への届けが必要なのではないですか？

以上のように、厚生労働省で許可されていな方法を、11歳の障害を持つ子供に使用しながら、事件後も、家族に隠して伝えない。という行為は、治療とは、言えません。

即ち、これらの行為は、殺人未遂罪（刑法 203 条）の未必の故意に該当すると考えます。

6、個人情報漏洩をしていた岩鼻まゆみの行為について

岩鼻まゆみは、医療カルテにわたくしの不妊治療に関して記載しています。患者の家族の不妊治療履歴や結婚した日を、わざわざ調べさせて記載するという行為は、医療行為と言うのでしょうか？

これは、あきらかに患者の家族の個人情報の漏洩になるのではないのでしょうか？ <http://www.jimmyswishproject.org/ivf>

7、医療カルテに記載された医療関係者とは思えない恐ろし言葉

通常、一般の看護師や看護婦長のイメージは、優しいイメージを持っていました。しかし、この岩鼻まゆみ（婦長）がカルテに書いた言葉を読んで、そのイメージは一瞬で消し飛びました。

そのカルテには、岩鼻まゆみ婦長から医師や看護師あての恐ろしい内容の指令が書かれていました。

以下は、その指令内容です。

【戦う事になる。(今回の件は、)根が深いので、恨みに繋がる。傷つく事を覚悟して、一丸となってやる必要がある。】

以上のように、他の看護師に医療事故について一丸となって戦う事を指示している内容が、そのカルテには、書かれていたのです。

この言葉が、厚生労働省が認めていない治療方法を、11歳の子供に実行した、防衛大学病院の小児病棟の婦長の言葉なのか？と目を疑いました。

通常であれば、『厚生労働省の認可されていない治療方法を両親のいない時間を選んでインフォームドコンセントも無く実行したために、息子さんが植物人間状態になってしまった事をお詫びします。』と

というような謝罪の言葉があつて当然です。

それが、このカルテには、謝罪の言葉は一言も無く、まるで、戦争にでも行くような指令が書かれているのです。防衛大学病院だから、他の大学病院とは異なるのでしょうか？

インフォームドコンセントも無しに、両親に無断で、両親のいない時間を狙って、頭にビニール袋を被せるという、まるで実験のような行為を実行した、防衛大学病院の小児科病棟の婦長の記載とは、考えられないような恐ろしい内容に鳥肌が立ちました。

<http://www.jimmyswishproject.org/command>

8、小島令嗣（医師）の2枚の医療カルテに記載された明らかな医療カルテ改ざんの証拠

大学病院で、度々、医療カルテの改ざんが問題になります。

でも、まさか、国の病院である防衛大学病院の医療カルテが、これほど、改ざんされていた事実には、驚かされました。

私は、新旧2件の医療カルテを保有しています。

1回目は、2008年のお正月でした。息子の様態に異常を感じ警察に通報した直後でした。それから、ずいぶん経過してから再度貰った医療カルテを見て驚きました。

特に驚いたのは、小島令嗣（医師）の2枚の医療カルテに記載された明らかな医療カルテ改ざんの証拠跡でした。この医療カルテの改ざんにしても、事件後の対応にしても、あまりにも酷い内容で驚かされます。

以上、まだまだ、多数書きたいことはありますが、これ以外は、公開討論会でお話しさせて頂きたいと希望しております。

そして、もし、院長様が、若松・小島・岩鼻らの行動の非を認めてくださるのであれば、公開討論会後に、厚生労働省に、この事実を通知していただけますよう、お願いいたします。

私の祖父も父も、陸軍士官学校出身です。

3名の伯父も陸軍士官学校出身です。

父や伯父の友人は多数亡くなりましたが、まだ、多数の方が、息子を心配してくださっております。

私も父が生きて居た時は、父に連れられて、六本木の防衛庁に何度もフリーパスで足を運んで、会社の社員を紹介していただいたり、ヘリコプターを私用で使わせて頂いたり。と、今では、考えられないような思い出が多数あります。

そのような思い出多い防衛庁の大学病院であり、まさか、子供に対して、このような恐ろしい事をするとは思えず、『本当に、こんな、恐ろしい事を子供に実行する医師や看護師が防衛大学病院に//いるなんて考えられない。』と、今でも、まだ、狐につままれたような気持ちでおります。

この背景には、主人と敵対している理化学研究所・先端医療振興財団の影が見え隠れしてはおりますが、ここでは、お話しは避けます。

院長様は、院長様として、冷静にお考えいただき、どうぞ、以下の内容にお答えいただけますよう、お願いいたします。

そして、通常の大学病院の院長様のように、この不祥事を隠したり隠蔽したりするのではなく、記者会見を開いて公表していただけますよう、お願いいたします。

院長様への質問

質問 1

院長様は、この医療事件の内容をご存知でしたか？

質問 2

若松・小島・岩鼻ら 3 名が実行した内容についての感想をお願いいたします。

質問 3

厚生労働省で許可されていない民間療法を、親へのインフォームド
コンセントも無く、無断で実行することについて、どのように思われますか？

質問 4

体調がすっかり回復している患者が、お正月休みの予定を組み、病院が最後の日で、明日からお正月休みに入るという 12 月 28 日（金）に退院予定でいるのに、急遽、主人がいないから退院をさせない。
という行動に病院として違和感を、感じませんか？

質問 5

防衛大学病院では、主治医が休みの日は、患者の様態が良くても、お正月休みで、会計が明日からいなくとも、退院は、翌日でなくては出来ないのでしょうか？

質問 6

医師や看護師の数が少ない 12 月 28 日に、2 名の医師・1 名の婦長
・1 名の看護師が 2 時間もかけて、寝たきりの子供の頭にビニール

袋を被せている行為を不自然に感じませんか？

質問 7

11 歳の子供が、低酸素脳症や二酸化炭素ナルコーシスに陥った場合、治療はしますか？

質問 8

11 歳の子供が、42 度の高熱があった場合、治療はしますか？

質問 9

11 歳の子供の血糖値が 300～500 あった場合、治療はしますか？

質問 10

11 歳の子供が、瞼が硬直し、20 時間もの間、瞼を閉じることが出来なくなった場合、治療はしますか？

質問 11

11 歳の子供が、窒息した時に、苦しくていきんだ為に、首から上の圧が上がった為に、目が充血し、瞼が閉じることが出来ない為に目の中に白い厚い膜が張るほどダメージを受けていた場合、治療はしますか？

質問 12

11 歳の子供が、低酸素脳症・二酸化炭素ナルコーシスで心臓が停止

する可能性を知っていた場合、人工呼吸器は装着しますか？それとも、放置しますか？

質問 1 3

防衛大学病院内の医師には、低酸素脳症や二酸化炭素ナルコーシスにより植物人間状態になり、ミオクローヌス・てんかん重積状態の出現し、瞳孔反応や角膜反射の消失あり、人工呼吸器を使用しなければ、二次性脳障害から、更に脳症が進行し命の危険が発生するという事実を知らない医師はいますか？

質問 1 4

防衛大学病院内の医師には、低酸素脳症や二酸化炭素ナルコーシスにより高体温が発生した場合、これらの高体温が、神経学的転帰を悪化させる重大な要因である事実を知らない医師はいますか？

質問 1 5

岩鼻まゆみの個人情報漏洩について、どのように思われますか？

質問 1 6

岩鼻まゆみが医療カルテに書いていた、【戦う事になる。(今回の件は、)根が深いので、恨みに繋がる。傷つく事を覚悟して、一丸となってやる必要がある。】という指令について、どのように思われま

すか？

質問 17

事実を公にして頂く事を希望しております。

公開討論会・記者会見にての事実公表をして頂く事は、可能でしょ

うか？

質問 18

一度、息子を見ていただく事は可能でしょうか？

『お手数をおかけ致しますが、ご回答を、2017年5月15日までに
頂けますよう、お願い申し上げます。』

第4立証方法

1、証拠 録音テープ 若松太 医師

頭にビニール袋を被せた時間は30秒間と告白しているテープ。

<http://www.jimmyswishproject.org/30-1>

2、証拠 録音テープ 小島令嗣 医師

頭にビニール袋を被せたのは、10分間と告白しているテープ。

<http://www.jimmyswishproject.org/3-1>

3、証拠 録音テープ 岩鼻まゆみ 看護婦長

頭にビニール袋を被せたのは、3分間との告白テープ。

<http://www.jimmyswishproject.org/10>

4、証拠 録音テープ 若松太 医師

頭にビニール袋を被せたのは、若松太と小島令嗣の2名と告白。

<http://www.jimmyswishproject.org/2-1>

5、証拠 録音テープ 岩鼻まゆみ 看護婦長

頭にビニール袋を被せた時間は12月28日13時との告白テープ。

<http://www.jimmyswishproject.org/13>

6、証拠 録音テープ 若松太 医師

二酸化炭素ナルコーシスで呼吸停止・瞼が閉じなくなった。との告白テープ

<http://www.jimmyswishproject.org/carbondioxidenarcosis>

7、証拠 録音テープ 若松太 医師

12月28日の6時30分 回診時にも、意識障害を確認。29日の日の朝、病院ぐるみで『何もなかった。』と言っていたのは隠蔽していた事を告白。

<http://www.jimmyswishproject.org/coma>

8、証拠 録音テープ 目の充血

呼吸停止時に苦しさからいきんだ為、首から上の圧があがった為に、目が充血した事を告白。

<http://www.jimmyswishproject.org/congestion>

9、証拠 録音テープ 植物人間状態になった為に腎臓と肝臓が同時に悪くなった事を認めている。

<http://www.jimmyswishproject.org/organdamage>

10、証拠 録音テープ 低酸素脳症になったのに、高熱を下げる為の氷枕や医薬品を使用していなかった事を認めている。

<http://www.jimmyswishproject.org/treatment0>

11、ビニールは、使用すると縮む（顔に張り付く）という事を認知していたが使用した事を認めている。

<http://www.jimmyswishproject.org/meaningofplasticbag>

12、証拠 医療カルテに書かれた恐ろしい指令

【戦う事になる。（今回の件は、）根が深いので、恨みに繋がる。傷つく事を覚悟して、一丸となってやる必要がある。】という指令を看護師や医師に対して書いている。

<http://www.jimmyswishproject.org/medicalchart>

1 3、証拠 病院ぐるみで証拠隠滅

若松太（医師）が、看護師が既に植物人間状態を知っていたが、病院ぐるみで隠していた事実を認めた会話。

<http://www.jimmyswishproject.org/evidenceconcealment>

1 4、証拠 29日まで治療を放置していた事実を認める会話

殺人未遂の未必の故意ではないですか？息子は治療を放置されていたため、高熱も血糖値も放置状態で脳のダメージが広がったのだそうです。息子は、28日の事件時に、人工呼吸器を装着してもらえなかった為に、29日の朝2回心臓停止しました。それでも、殺人未遂の未必の故意にはならない。と言うのでしょうか？

<http://www.jimmyswishproject.org/28>

1 5、Google 検索で、『過換気症候群・ビニール袋／plastic bag for hyperventilation』と英語で検索すると

一番最初に、100医師で構成されている Web MD が出てきます。このサイトは、世界で多数の賞を取っている信頼できるサイトとして有名です。『絶対にビニール袋を使用するな。』と出ます。同時に、『一番長くとも、12呼吸のみまでにするように。それ以上は危険！

』と出てきます。しかも、これは、頭に被せるのではなく、口に当てる行為についてです。 <http://www.jimmyswishproject.org/blank-5>

16、治療放置の証明

意識障害（昏睡など）を起こした二酸化炭素ナルコーシス患者には、人工呼吸器装着は常識と言われています。この事実を知らない医師はいません。しかし、息子は、何もされていませんでした。

<http://www.jimmyswishproject.org/co2>